

# 中国におけるカミングアウト支援:

支援団体 Trueself の支援ツールとしてのワークブックの分析から

Support for coming out in China

From the analysis of the workbook as a support tool of the organization Trueself

劉 強

LIU QIANG

立命館大学大学院人間科学研究科博士課程後期課程

Doctoral Program, Graduate School of Human Science, Ritsumeikan Univ.

Key words: Coming out, Chinese Society, Support

## 目的

セクシュアルマイノリティの支援団体に関する研究は各国ではなされている。例えば、三部(2014)は日本におけるセクシュアルマイノリティの親のためのセルフヘルプグループの実践を紹介し、Broad(2011)はアメリカの支援機関である PFLAG の活動を“感情的な約束”という概念で解釈した。しかし、中国社会ではまだセクシュアルマイノリティの支援機関に関する研究が十分になされていない。劉(2022)は支援団体の Trueself の支援活動にフォーカスし、研究を行なった。この支援団体は中国国内で最大級の団体であり、支援が全土に行き渡っている。活動はセクシュアルマイノリティのカミングアウト、とりわけ家族へのカミングアウトの支援を行なっており、支援対象はセクシャルマイノリティ本人及びその家族である。今回のポスター発表では、Trueself の支援内容の一部を紹介しつつ、その支援活動が醸成される中国社会の文化的背景を明らかにするために、支援ツールの一つであるワークブックを分析する。

## 方法

研究方法は、ワークブックの内容をカテゴリーごとに分解し、それぞれのカテゴリーの目的を明らかにした。

## 結果

このワークブックの作成の最大の狙いはセクシュアルマイノリティの家族へのカミングアウトを支援することである。ワークブックは一つの箱に入っていて、中にはワークブックのほか、使用説明書、ステッカー、及びレインボーカードというトランプカードのようなものも入っている。ワークブックの中では、カミングアウトを(1)自己統一感を高める、(2)家族関係を促進する、(3)カミングアウトの経験を積む、(4)カミングアウトレターを用意する、(5)親の成長を伴走する、という5つの段階で分け、30日間日記の形でそれぞれの段階で達成する目標が記入されている。レインボーカードは「家庭」「老後問題」「生育」など6テーマで構成され、それぞれのテーマはセクシュアルマイノリティ本人向けのカードと親向けのカードから構成されている。

## 考察

第1に、家族主義的な側面が見られる。まず、“家族を中心に”という支援の切口から家族の重要性を表している。また、カミングアウトしづらい状況の中でも、家族の受容を求めることから、家族の理解を得ることの重要性が見られる。Chou(2001)は孝文化の影響で自身がセクシュアルマイノリティであることが親を苦しめることへの自責の念が強くなる傾向があると指摘し、劉(2022)は、中国人セクシュアルマイノリティは自身のカミングアウトが親に大きな衝撃を与え、その苦痛や絶望から回避するためにカミングアウトしないことを選択していると指摘している。しかし、このような状況下でも家族へのカミングアウトを行うことから、家族からの受容が中国人セクシュアルマイノリティにとって重要であることがわかる。つまり、こういった家族主義的な考え方はカミングアウトを阻む場合もあれば、促進する場合もあるといった両面性を有している。そして、こういった家族主義的な文化的背景があるゆえに、中国における家族へのカミングアウトを特化する支援活動が生まれた。

第2に、カミングアウトの特殊性が見られる。砂川(2018)はカミングアウトが人間関係を作り直す作業の始まりで、新しい自分とこれまでお互いよく知っていた親密な関係の相手との出会い直しであると述べている。新たな自分として親に受容されるよう伏線を貼らなければならないことからカミングアウトの特殊性を表している

## 参考文献

- KL Broad.2011. *Coming out for Parents, Families and Friends of Lesbians and Gays: From support group grieving to love advocacy*. *Sexualities*.14(4).399-415.
- WahShan Chou.2001.*Homosexuality and the Cultural Politics of Tongzhi in Chinese Societies*. *Journal of Homosexuality*, 40(3-4). 27-46.
- 三部倫子 (2014) 『カムアウトする親子—同性愛と家族の社会学—』 御茶の水書房.
- 砂川秀樹 (2018) 『カミングアウト』 朝日新聞出版社.
- 劉強 (2022) 「中国におけるカミングアウト支援の現状 : 支援機関 Trueself の調査から」 『立命館アジア・日本研究学術年報』 3, 94-108.